

Comment

***Helicobacter Pylori* infection of the gallbladder and the risk of chronic cholecystitis and cholelithiasis: A systematic review and meta-analysis**

Helicobacter 23: e12457

胆道疾患と胆道への *H.pylori* 感染については結論が出ていない。そこに踏み入る意味では非常に意義のある研究である。しかし、本研究の結果の解釈はシステマティック・レビューとメタアナリシスといえども十分に注意する必要がある。

解析手法としてシステマティック・レビューとメタアナリシスに関しては模範とするべきである。しかし、どの論文を選択すべきなのかという点において（Newcastle-Ottawa スケールで評価をされているものの）、本論文は大きな欠点を有していると言わざるを得ない。検索タイトルを胆石（cholelithiasis）、*Helicobacter pylori* とせずにいれば回避できた点は多くあったと思われる。本研究で選択した 18 論文の個々の問題点について、以下に述べる。

参考論文 13. *H.pylori* 陽性症例数に関して明言されていない。（OR からの計算上は 18 例）。しかし 24/56 といった記載もあり真偽の程は不明である。

参考論文 14. 本論文 Table 1 に誤植あり（刊行年 2015→2009）。*H.pylori* 陽性症例数に関して明言されていない（本文からも読み取れない）。

参考論文 16. 総胆管結石例が含まれている。また症例の選択期間が不明である。

参考論文 17. 症例の選択期間が不明である。

参考論文 18. 肝内結石例が含まれている。

参考論文 19. *H.bilis* が含まれている。総数の集計方法が不明である。

参考論文 20. 症例数の算定が不明である。

参考論文 21. 本論文においての *H.pylori* 陽性率 (3/84) 的にイランをアジア、とすべきかに関しては疑問である。

参考論文 22. *H.pylori* 以外が含まれている。

参考論文 23. *H.hepaticus* 含まれている。

参考論文 24. *H.ganmani* が含まれている。

参考論文 26. *H.bilis* が含まれている。Helicobacter 陽性をどの検査で算出したかが不明である。

参考論文 27. *H.pullorum* が含まれている。

参考論文 28. *H.pylori* 陽性症例数に関して明言されていない (OR からの計算上は 18 例) 。また、ヘリコバクター属としてのみ記載されている。

いくつかの論文においては、対象例は *H.pylori* 陰性であるので OR は無限となるはずである。したがって、図表内の数値の意味は不明である。

以上を反省点とし、今後の胆道疾患とヘリコバクター属との関連についての臨床研究は、胆汁ないし胆嚢組織における PCR を用いたヘリコバクター属の証明、もしくは特異的 PCR による特定のヘリコバクター属との関連に着目した研究を行うべきである。さらに、胃内の *H.pylori* 感染に関する情報 (未感染、既感染、除菌の有無) も加味した検討をするべきである。

(宮崎大学医学部内科学講座消化器内科学分野 河上 洋)
